

みなみあしや はま

## 南芦屋浜地区第一期住宅分譲地区整備事業

受賞機関 兵庫県企業庁地域整備局南芦屋浜整備課  
兵庫県企業庁阪神・淡路臨海建設事務所

## はじめに

緑の多い良好な住宅地が広がる関西を代表する国際文化住宅都市芦屋市の南沖合に位置する面積125.6haの埋立地南芦屋浜地区で、計画戸数3,000戸、計画人口9,000人の「人間サイズのまちづくり」進めており、北部エリアでは既に阪神淡路大震災の復興住宅が建設され人々が健やかに暮らしている。

このたび、南部エリアで、戸建住宅による第1期住宅分譲地区整備を行うに当たり、兵庫県企業庁、芦屋市と事業コンペに当選した三菱地所(株)、三井不動産(株)、阪神電気鉄道(株)を代表とする民間事業者6社のグループとが協力し、南芦屋浜地区の事業コンセプトである安心、安全、魅力を良好な景観形成に具体的に反映するため各種の取り組みを行い、良好な景観形成に努めたまちづくり事業が完成した。

## 事業概要

## ・ 工事内容（兵庫県企業庁施工分）

造成工事 75宅地 A = 1.5ha

区画道路工事（タイル舗装含む） L = 783m w = 6.3m

電線類地中化工事 L = 10,050m（電気等5種類）

下水道工事 雨水L = 686m 汚水L = 779m

コモン・フットパス整備工事 各2箇所

## ・ 工事期間：平成14年2月～平成15年2月

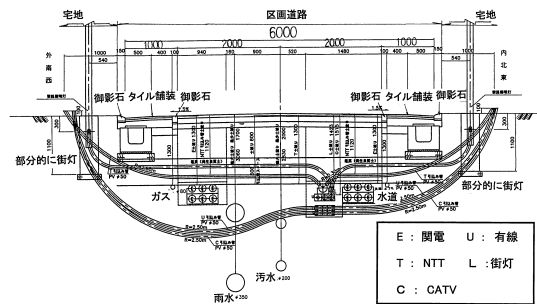
## ・ 事業費：411百万円

## 事業の特徴

各事業者が景観に対して共通の認識を持つために、各事業者、学識経験者からなる南芦屋浜地区街づく



完成後の街並み



り検討会を設置し、「南芦屋浜地区景観ガイドライン」を作成し、それに沿いまちづくりを行うとともに、景観条例等により良好な環境を維持していくことに取り組んでいる。

## (1) 区画道路における電線類地中化の実施

一般的には困難である幅員6mの住宅地内区画道路において、電線類地中化を電線管理者の協力を得て実施した。

## (2) 住宅とインフラ整備とのデザインの調和

区画道路の両側1mはタイル舗装を採用するとともに、境界部には御影石を配置し、住宅についても、コーディネータ（学識経験者）により景観のチェックを行い、色調を合わせた御影石、芝生の使用、枕木の使用等を行いデザインの調和を図った。

## (3) 良好な環境を守り続けるための工夫

完成後も良好な景観を守るため、地区整備計画の策定、景観地区の指定（市条例）広告景観モデル地区の指定（県条例）などの法規制も導入している。



完成直後のまちの全景